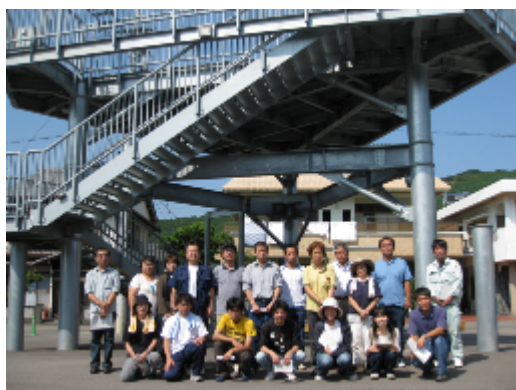


2009 連合徳島



村対サポートチーム

第9期生報告集

講座の開催にあたって

連合徳島ボランティア・サポートチーム

養成講座運営委員会 運営委員長 藤本 恭士

第9回ボランティア・サポートチーム養成講座は、5月23日から10月24日の間、講義や実践体験など全7講座を開催し、多くの防災知識の習得と救急救命等の技術の向上を図ることができました。休日開催にもかかわらず、熱心にご参加くださいました51名の受講生の皆様や運営にご尽力いただきました連合徳島及び関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

近年、世界各地で大地震などの大規模自然災害が発生し、日本においても昨年の8月11日に静岡県駿河湾沖（M6.5）で発生した地震により多くの尊い命と財産が失われました。

私たちの住む徳島県も決して例外ではなく、南海地震は20年以内に発生する可能性もあるとされています。そして、この地震は、M8.4規模を想定する研究者も多く、この場合、県南部では震度5～6の揺れと、10分以内に津波が襲うことが予想されています。

自然災害をコントロールすることは今の科学では不可能だと思いますが、大規模災害が発生した場合に万全に備え、被害を少なくすることは可能です。

私たち連合徳島ボランティア・サポートチームは、今後、発生が予想される地震等の大規模自然災害に対して、自分自身や家族を守ることがもとより、地域や職場等において公的な組織や被災者の方々と連携し、避難や救出・救命などの災害救助活動に従事することで、被害の軽減と拡大防止をはかることを目指して取り組んでいきたいと思っています。そのためにも、さらなる知識と技術の向上をめざし一人でも多くの方に「第10回ボランティア・サポートチーム養成講座」にご参加いただきますようお願いいたします。

－2009ボランティア・サポートチーム養成講座参加者－

旭 トモ子	岡川真紀子	庄野 昌彦	藤森 申二	福本 純	山下 昭彦
井川 樹里	金子真由美	杉川 公章	長尾 雅史	藤本 恭士	山下 健一
池谷 佳久	川越 敏良	杉本 章	中川 智史	古野 幸司	山田みゆき
犬伏 雄人	喜納 浩信	高橋 修	中野 修次	傳 麗	山藤 正義
井内 佳代	木本 正	田中 昭征	中山 まき	松下 俊郎	吉田 耕造
岩野恵実子	国見 聖	高橋 修	西内 正勝	溝俣 和哉	加村 祐志
岩見 洋	後藤 和昭	谷 佳都紀	能見 道則	峰行 一夫	
大寺 禮子	小林 克典	谷脇日出正	原 あゆみ	村浪 彰英	
大原由香里	佐古 英仁	都築 宣也	板東喜代子	八木由利子	

大規模自然災害、連合徳島の果たす役割

兵庫県南部地震、鳥取県西部地震など、改めて自然の恐ろしさを痛感させる災害が発生しています。

そしてこの一連の地震は、次の南海地震の前触れに相当する内陸地震であり、20年以内に南海地震が発生する可能性もあるとされています。

そして、この南海地震はM8.4規模を想定する研究者も多く、この場合、県南部では震度5～6の揺れが予想され、その上、10分以内に津波が襲う。とされています。

こうした状況をふまえ、徳島県に大規模災害発生した場合を想定する場合、連合徳島の果たす役割は、何か。

- ※ 構成組織の事業所内の自然災害発生時に備えて取り組むべきマニュアルの提示。

- ※ 自治体への政策制度要求。

- ※ 連合徳島自らがおこなう防災対策とボランティア活動の推進。

などがあげられます。

特に、3点目の連合徳島自らがおこなう防災対策とボランティア活動を推進するために、緊急時における連合徳島災害対策本部を設置し、ボランティア救援隊を組織する必要があります。

災害対策本部は連合会長を対策本部長とし、ボランティアの受け入れや組合員の安否確認、情報の収集・提供、など各地協・構成組織と連携しながら、救援センターとしての役割を持つ必要があります。

ボランティア救援隊は、そのリーダーとなるべき人を養成するため、組合員を中心に広く市民から募集し、ボランティア・サポートチームとして日常的に実践的な教育訓練をおこなう必要があります。

連合徳島ボランティア・サポートチーム運営要綱

趣旨

連合徳島ボランティア・サポートチームは、今後発生が予想される、大規模自然災害に対して連合徳島構成組織、連合徳島各地域協議会、行政と連携し災害救助活動に従事することで、被害の軽減と拡大防止をはかることにあります。

また、国内で発生する大規模災害に際しても、一定の条件が整う場合は、連合徳島の派遣決定により、連合徳島ボランティア・サポートチームを派遣します。

上記の災害救援活動を効率的におこなうために、参加者に教育訓練をおこないます。

名称

「連合徳島ボランティア・サポートチーム」とします。

登録

参加登録を希望する方は、連合徳島に登録されます。

脱退

次の場合は登録を取り消します。

- ① 本人の希望により取り消すとき
- ② 対象者の条件に合わなくなったとき

派遣

徳島における災害発生時のサポートチームの派遣は、連合徳島災害対策本部の設置と同時に派遣出動体制を確立します。

国内で発生する大規模災害に際しても、一定の条件が整う場合は、連合徳島の派遣決定により、派遣要請がおこなわれます。

活動

サポートチームの活動内容は、教育訓練により会得した対応能力に応じた支援活動とします。

徳島における災害時の活動は、支援ボランティアの受け入れや調整、各種の生活支援活動とします。

国内での災害時の活動は、地方連合会や行政と連携し、支援をおこなうこととします。

教育・訓練

登録メンバーは、知識と技術向上のため、別に定めるカリキュラムに従い教育・訓練をけることとします。

保険

登録メンバーは、「ボランティア保険」に加入することとします。

事務局

連合徳島ボランティア・サポートチームの事務局は次の場所に設置します。

〒770-0942

徳島市昭和町3丁目35-1 徳島県労働福祉会館内

日本労働組合総連合会徳島連合会

TEL 088-655-4105 FAX 088-655-4113

E-MAIL

info@tokushima.jtuc-rengo.jp

2009ボランティア・サポートチーム養成講座

	開催予定日		講座内容	講師等	場所
1	5月23日	(土)	開講式・オリエンテーリング、 一般救命講習(心肺蘇生法、自動体外式除細動器・AED、止血法等)	徳島市東消防署	徳島市東消防署 656-1195
2	6月13日	(土)	実践体験講習Ⅰ(災害について) 救急法・担架搬送・ロープワーク等	徳島市東消防署	徳島市東消防署 656-1195
3	7月11日	(土)	「連合の森」下草刈り作業	県林務職員等	美馬市木屋平 中尾山「連合の森」
4	7月25日 ～26日	(土) (日)	野外活動 森林教室・木工教室・植林等 「連合の森」親子サマーキャンプ	森林労連等	美馬市木屋平 中尾山「平成荘」
5	9月26日	(土)	災害現場、現地視察(美波町)	県林務職員等	美波町(旧日和佐町)
6	10月17日	(土)	食に知っ得講座「食品安全の基礎知識」 「よくわかる食品表示」	徳島農政事務所	とくしま県民活動プラザ 664-8211
7	10月24日	(土)	講演「迫り来る南海地震に備えて～阪神・淡路大震災を体験して～」 総括討論・修了式	徳島新聞社メディア局 末沢 弘太	とくしま県民活動プラザ 664-8211

2008ボランティア・サポートチーム養成講座報告

5月23日（土）

開講式・第1講座は、徳島市東消防署で開催し、36人が参加。連合徳島・川越会長から養成講座の意義と激励を受けた後、一般救命講習（心肺蘇生法、AED等）を受けた。東消防署係員から救命についての説明後、訓練用の人形を使っての人工呼吸・蘇生訓練をした。また、AED（自動体外式除細動器）の使用についてもわかりやすく指導を受けた。講習終了後、参加者に徳島市東消防



署から「普通救命講習修了証」が交付された。

6月13日（土）

第2講座—実践体験講習Ⅰ（災害について）

徳島市東消防署救助隊員の指導のもと31人が参加。日常生活でも利用でき、役立つ三角巾を使っての止血法やロープワークを訓練。もやい結び、巻き結びなどロープに惑わされるも、多くの隊員の親切な指導と仲間同士で教え合いながら何とか体得。毛布を使った担架搬送訓練や、川などで溺れている人へロープやペットボトルを投げての救助法などを学習した。



7月11日（土）

第3講座「連合の森」下草刈り作業

「連合の森」親子サマーキャンプ（7／25～26）の植林前に、実施した下草刈り作業に18人が参加した。2006年から地元美馬市の協力のもと、「連合の森」を新たに中尾山に開設し、3年間でコナラ90本と栃の木50本を家族・グループ毎に植林してきた場所を自分たちで下草刈りやゴミの回収、鹿対策の防護ネットの修理作業を県林務職員や森林労連の指導のもと実施した。参加者は、汗ビッシヨリになりながらも自分たちが植林した木の成長を確認するとともに、今回新たに植林する場所を手入れするため、カマを手に下草などを刈った。



7月25日（土）～27日（日）

第4講座「連合の森」サポート

地球環境にやさしい労働運動をめざした「連合の森」親子サマーキャンプが7月25日（土）～26日（日）美馬市木屋平の中尾山・平成荘で開催され、107人（大人60、子供47）が参加した。

12時30分から体育館で開会行事を行い、連合徳島・川越会長から主催者代表のあいさつの後、美馬市木屋平支所・松家支所長、連合議員ネット代表・庄野県議からあいさつを受けた。



昼のイベント1として「森林教室」が実施され、徳島森林管理署の職員から、「地球温暖化と森のしくみ」について、プロジェクターを使ってわかりやすく説明を受けた。

続いて、昼のイベント2として木工工作教室（写真立て、竹笛作り）とボランティア養成講座の一環としてテント張り訓練（3. 6×7. 2、3 張り）を実施した。特に、木工工作教室は大人気で、杉の間伐材にどんぐりや松ぼっくりなどをボンドで付けたり、マジックでパンダの顔を描くなど親子で熱中し、それぞれオリジナルな写真立てと竹笛作りを完成させた。

昼前から降っていた雨も、夕方のバーベキュー前にはあがり、子供たちの食欲も旺盛で肉・野菜・ウインナー・おにぎり・すいかを食べて、大人達もビールを飲みながらそれぞれに交流を深めた。また、お楽しみ抽選会もみんな大喜び。19 時からは夜のイベントとして行ったビデオ上映（ドラゴンボール、クレヨンしんちゃん）も子供たちに大好評だった。

翌日は、朝食後に2006年美馬市の協力のもとできた「連合の森」へ車で移動し、県職林務職員の指導のもと、家族・グループ毎に50本の苗木（コナラ）を植林するとともに、今年も鹿対策の防護ネットも自分たちで取り付け、大きく成長することを願って名札も埋め込んだ。

初日、2日目と雨も少し降ったりしたが、森林管理署、林野労組や県職林務職員をはじめ、多くの皆さんの協力と地元美馬市の協力をいただき、標高1,050 ㍎のすばらしい環境のもと事故もなくサマーキャンプを終了することができた。

最後に、今回のキャンプにカンパ等を頂きました各構成組織・団体に心より感謝を申し上げます。

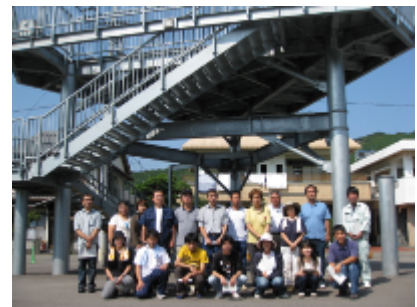


9月26日(土)

第5講座は、2008年6月28日から29日の記録的な集中豪雨により、山腹斜面が崩壊して下方の人家、町道に土砂が流入し、人家1戸全壊、2名軽傷となる被害が発生した美波町久望地区の災害現場を22人が現地視察した。8時30分に労館前を中型バスで出発し、9時30分に美波町久望で県林務職員と合流。旧日和佐町の大災害を受けた現場を視察し、復旧工事中の箇所を歩いて見るとともに、担当者から当時の写真と資料をもとに詳しく説明を受けた。

当時の被害の大きさを実感するとともに、国・県が進めている復旧工事の進捗状況が良くわかった。また、改めて自然災害の恐ろしさを再認識することができた。

また、午後からは美波町日和佐浦地区に設置された津波避難タワーを見学、地元美波町の担当職員から詳しく説明を受けた。徳島県津波浸水予測調査において、日和佐漁協前での津波想定高6.11m、想定浸水深が最大で3mと予想されており、次の南海地震では震度6弱から6強の揺れが予想される中、早急な対策が求められていた。このため、当地区における津波避難困難地域の解消を図り、地震後の津波による人的被害を防止するため、2006年徳島県緊急津波対策事業補助金を利用して、津波避難タワーが整備されたとのこと。参加者は、実際に高さ7mの避難タワーに登り、



LED照明や簡易トイレ等が設置されていることなどを確認した。



10月17日(土)

第6講座は、とくしま県民活動プラザで開催し、28人が参加した。養成講座としては、はじめての講座内容となった「食の知っ得講座」を徳島農政事務所の担当職員の方から「食品安全の基礎知識」と「よくわかる食品の表示」について、プロジェクターを

使って詳しく説明を受けた。まず、「よくわかる食品安全～食品安全の基礎知識～」については、○「食の安全」と「食品の安全」○食品について、正しく知ろう！○私たちの健康を守るために○リスク低減のための仕組み○食品の「安全」と「安心」、のメニューでクイズ問題も入れてわかりやすく話された。

続いて、「よくわかる食品の表示～J A S法に基づく食品表示～」では、○食品表示の必要性○J A S法に基づく食品

の表示（生鮮食品と加工食品）○J A S規格制度○J A S法の概要○行政機関の

取り組み、について説明を受けた。普段何気なく見ているパッケージ等の表示や賞味期限と消費期限の違い、遺伝子組み換え食品の表示などについて学習を深めた。



10月24日（土）

第7講座・修了式は、とくしま県民活動プラザで開催し、28人が参加した。第7講座は、前年に引き続き徳島新聞社メディア局情報部の末沢弘太さんから「阪神・淡路大地震を体験して」と題して講演を受けた。

末沢さんは、神戸市灘区出身で被災し、その時の体験をもとに地震の想像を絶する恐ろしさなどを写真や映像をプロジェクター使ってわかりやすく説明された。阪神大震災での揺れは、機械で体験する揺れとは全く別物で、「爆音の中、ふっとばされ、振り回された」感じが強かったと。また、自分自身が災害当時の現場（長田区、東灘区、灘区、兵庫区など）を歩き、阪神高速倒壊や潰れた自宅、避難所の状況などが写真に収めており、その時の状況（電気・ガス・水道・交通機関など全てのライフラインが止まった）を詳しく話された。



そして、「防災というものは、突き詰めれば、死なないため」にどう対策をするかで、生き残る可能性を上げるためには、「まず災害を想像できるだけの知識を学び、災害に備えてください」と訴えられた。

修了式では、高根会長代行から修了証書（7講座中4講座以上出席）が手渡され、第9期の養成講座についての総括・反省点等、第10期に向けた意見交換を行った。



第9期連合徳島ボランティア・サポートチームの記録

〒770-0942

徳島市昭和町3丁目35-1 徳島県労働福祉会館6F

日本労働組合総連合会徳島連合会

t e l 088-655-4105

f a x 088-655-4113

e-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp

<http://tokushima.jtuc-rengo.jp/>

